

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成28年9月27日 (17:00~17:30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 坂口な、古田、石村、原田、甲斐、泉田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	9人	2人	0人	12人

前回の改善計画

・本人や家族とのコミュニケーションを図り真の思いを理解し、本人の不安を早く解消することができるようスタッフ間の情報共有を図り支援につなげる。

前回の改善計画に対する取組み結果

・得た情報は朝礼やミーティング等で他の職員と情報共有及び交換できるように努めた。  
・センター方式のシートは一部の利用者には活用できたが不十分だった。  
・入職もない職員は、本人や家族とのコミュニケーションを積極的にとることができず不足がみ。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	7	2	0	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	9	3	0	12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	2	8	2	0	12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	7	3	0	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・利用開始前に得た情報を職員で共有でき支援に活かすことが出来ている。  
・センター方式C-1-2シートの活用で本人の気持ちを知ることが出来、早いうちから関係づくりに役立てることが出来ている。  
・得た情報により家族にも介護情報の提供が出来ている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・独居の認知症の利用者の場合、情報がとりづらく、家族も状況をあまり把握されておらず情報が得にくい。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

・担当の職員やケアマネのみで情報収集する事は難しいため、他の職員と協力し得られた情報は共有する。  
・新規の利用者に限らず、利用途中でもセンター方式C-1-2シート及び24時間シートを活用し支援に活かす。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成28年9月28日 (13:30~14:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 上村、坂口な、星野、石村、原田、泉田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	7人	4人	1人	12人

前回の改善計画

- ・ 早めに担当を決めケアマネと一緒に関わり、本人を理解する。
- ・ 初回のアセスメントから関わり、本人の意向を良く捉え、ずれがないようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・ 担当の介護職員も早期から関わる事で、情報を把握し支援につなげることが出来たが一度の訪問では不十分であった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	8	3	1	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	12	0	0	12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	7	5	0	12
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	8	3	0	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ ケアマネと担当の職員がアセスメントする事で情報が把握でき、得た情報により本人の望む暮らしを支援する事が出来ている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・ 担当が毎年替わり具体的な申し送りが出来ず十分な把握ができていない。
- ・ 目標の設定が家族を優先せざるをえない状況もあり、本人の思いに添えない時もある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・ 新規の利用者の情報は書面だけではなく、朝礼やミーティングでも伝え全職員に情報提供し、本人の望む生活が支援できるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成28年10月2日 (11:30~12:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 川崎、坂口な、古閑、泉田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	6人	4人	0人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・利用者に関わる時間を確保し、情報収集により現状に即した支援につなげる。</li><li>・午睡後などお茶を飲みながらゆっくり話す時間を確保し情報を収集、本人の能力を活かした自立支援につなげる。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"><li>・午睡後はTVを楽しまれる利用者が多くコミュニケーションをとることが難しかった。また他の利用者が居る時より入浴や送迎等少人数の時にコミュニケーションが図りやすい為、本人の1日の過ごし方に合わせながらコミュニケーションを図ると会話ができて情報が得られた。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	3	7	2	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	9	0	0	12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	6	5	1	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	7	2	0	12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	4	5	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・送迎や入浴等支援中の会話で得られた情報を記録し、他の職員との情報共有が出来る。</li></ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・利用者全員とのコミュニケーションが図れず情報不足。</li><li>・精神的に不安定な方が居られ安全を確保することを優先してしまい余裕が無い。</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>・以前の暮らしを把握できるよう生活環境を含め理解する為にアセスメントシートの見直し動線の確認等(自宅の平面図)も含め情報収集する。</li><li>・ケアマネの訪問等に積極的に同行し情報を取り支援につなげる。</li></ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成28年10月2日 (13:45~14:15)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 川崎、坂口な、泉田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	3人	7人	1人	12人

前回の改善計画	民生委員等の社会資源の把握及び連携。 本人、家人からの情報収集に努め、地域の関係性やその変化を把握し連携を図る。
前回の改善計画に対する取組み結果	・在宅での生活を支えるためには、社会資源の活用が必要である事を理解し協力が得られるよう働きかけた。 ・家族との関わりが少なく情報不足により把握が不十分だった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	2	9	1	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	5	4	1	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	4	5	3	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	1	7	3	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・地域資源を把握し一部の利用者に対しては協力も得られた。 ・運営推進会議やサロン等に参加することで利用者の地域情報も得ることができている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・必要性は理解しているが、早期のうちからの利用者の近所や民生委員との関わりはとれていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・利用開始後できれば早いうちに事業所の近所や民生委員等に挨拶に行き、協力体制を構築することで在宅生活を継続することが出来る。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成28年10月9日 (14:00~14:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 星野、坂口か、泉田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	5人	5人	1人	12人

前回の改善計画	社会資源の活用。 植木町の介護保険サービス事業所一覧の活用。 運営推進会議等で、地域の情報収集を行い必要な支援に活かす。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ 植木町介護保険サービスについて、把握は出来たが活用までには至っていない。 ・ 地域の行事等の情報をいただいたが、地震の為中止になってしまった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	3	7	1	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	7	1	0	12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	1	10	1	0	12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	7	1	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・ 本人の体調や家族の希望にあわせ利用の調整を行い柔軟な支援が出来ている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・ 十分な把握が出来ておらず地域資源の活用が出来ていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ・ 利用前の生活状況や地域の支援状況を十分に把握できるよう早期に情報を得、必要な支援につなげる。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成28年10月17日 (16:30~17:30)

6. 連携・協働

メンバー 川崎、坂口な、古田、坂本、石村、原田、泉田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	7人	3人	0人	12人

前回の改善計画

多くの職員が積極的にサロン等に関われるようにする。  
情報を把握し認知症等の知識を活かし、交流を図り信頼関係が構築できるように努める。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・職員が地域に出向きサロン等に関わることで、地域住民との交流ができ徐々に事業所も認知されてきた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	2	6	0	4	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	2	5	4	12
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	3	4	2	3	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	2	6	3	1	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
・地域社協や“ささえりあ”との連携を図り、イベントやサロン等の活動に支援協力している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
・担当の利用者が住む地域のサロンに参加できていない。  
・事業所でのイベント等ある時に地域に案内するが、一般の方が事業所に来所されることが少ない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・事業所に来所される方が少なく、地域との交流の機会が少ないので花見等の時期の良い時に住民向けにイベントを計画し交流の機会をつくる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成28年10月17日(16:30~17:30)

7. 運営

メンバー 川崎、坂口な、古田、坂本、石村、原田、泉田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	3人	6人	2人	12人

前回の改善計画	地域との関係を構築する。 地域、校区の社協やささえりあ等との連携を図り多くの職員が関わるができるように努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	・運推や地域の行事、サロン等に関わることで情報交換ができ地域との連携が図れた。 ・利用者や住民の意見要望を聞き、次につなげることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	2	4	4	2	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	10	1	0	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	5	4	1	12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2	2	5	3	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・事業所の在り方について、満足度調査や運営推進会議等で皆様より意見を頂き運営に反映し改善を図る。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・経験不足により積極的に関わる事が出来ない。 ・地域の事をあまり把握できておらず、地域との関わりが不十分。 ・業務上困難で関われない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ・サロン等の経験ある職員と一緒に関わる事で、積極的に地域の方と協働した取組みが行える様にする。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成28年10月17日 (16:30~17:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 川崎、坂口な、古田、坂本、石村、原田、泉田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	9人	1人	0人	12人

前回の改善計画	地域連絡会に参加。 今後植木町の地域支援活動に積極的に参加し、知識を深め他の事業所と協力し住民の生活を支援することができる。
前回の改善計画に対する取組み結果	・サポートリーダーとして、認知症カフェ等ささえりあと協力しながら住民を支援する事ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	3	5	1	3	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	5	2	3	12
③	地域連絡会に参加していますか	0	2	4	6	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	5	6	1	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・研修に参加して知識を深めると共に、本やメディア等からも情報を得ることでスキルアップが図れている。 ・リスクマネジメントについて理解し再発を防止に努めている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・勤務等で都合がつかず研修に参加できていない。 ・余裕が無く次のステップに向けたスキルアップが出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・参加したい研修等があれば積極的に申し出る。また、参加できるように勤務調整をし資格取得やスキルアップができるように努める。	



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成28年10月18日(16:30~17:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 上村、坂口な、古田、石村、泉田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	3人	6人	2人	12人

前回の改善計画
拘束のないケアの実践。 身体拘束の排除、拘束ゼロに向けミーティングや法人勉強会で知識を深めスピーチロックも含めゼロを目指す。 成年後見制度についての勉強会を実施し知識を深める。
前回の改善計画に対する取組み結果
・スピーチロックについて委員を中心に排除に向け努めている。 ・権利擁護については法人の勉強会で知識は深まったがまだ知識不足。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	3	5	1	3	12
②	虐待は行われていない	2	5	2	3	12
③	プライバシーが守られている	0	2	4	6	12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	5	6	1	0	12
⑤	適正な個人情報の管理ができている					

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・身体拘束の弊害について理解し、本人の意向を尊重し介護している。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・スピーチロックが気になる時があるが、注意することができない時がある。 ・現在成年後見制度を必要な方がおられず活用までには至っていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ・成年後見制度の知識を深め、必要な方おられたらスムーズに手続きが出来るようにする。 ・スピーチロックに気づいたら、お互いに注意し改善できるようにする。
---------------	--

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人社団 郁栄会	代表者	伊東山 洋一	法人・ 事業所 の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人との連携により医療面も不安なく過ごすことができ、理学療法士等の協力で身体機能の維持向上が出来ている。</li> <li>・“ささえりあ”や校区社協等と協力し、積極的に行事やサロン等に参加、今まで築いてきた地域との関係を継続しながら利用者だけでなく地域住民も安心して暮らしているよう支援している。</li> </ul>
事業所名	シニアクラブ菱形	管理者	泉田 美津子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	2人	人	1人	1人	人	3人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・小規模多機能居宅介護事業所について再度説明し理解を得る。また新たに検討しなければならない点について一つずつ改善を図る。	・自己評価で出た改善計画に対し前向きに検討し改善が図れたが、不十分なところもあり今後も引き続き改善を図っていく必要がある。	・全職員評価され、自己に厳しく評価してある様に思われる。	・経験の少ない職員も地域行事にも一緒に関わることが出来るように、フォロー体制を整える。
B. 事業所のしつらえ・環境	・事業所玄関までの案内板を建てスムーズに利用できるように改善を図る。	・庭に職員の手作りで、入り口までの案内板をたて利用しやすいように改善した。	・事業所が自宅の裏で道路からは見えない為もう一つ看板を建て電柱の看板ももっと大きくしたら宣伝になるのではないかと。	・事業所入り口までの案内板の増設を行い、住民の皆さんがスムーズに利用できるように改善を図る。
C. 事業所と地域のかかわり	・今後も地域行事やサロン等に出向き、多くの住民の方にも知ってもらえるように積極的に関わりを持つ。	・特定の職員だけでなく、今まで関わりが無かった職員も地域に出向き住民との交流が出来るようになった。	・高齢者は病院に行かないと血圧測定は出来ないの、サロン等で血圧測定してもらえれば喜ばれる。	・現在参加できている行事には積極的に参加し交流を図り事業所を知ってもらえる機会を持つ。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・地域行事の把握の為、コミュニティセンターやサロン等で情報収集し利用者が参加できるようにする。	・本年度は震災があり、中止になった行事もあったが、参加可能な行事には参加し地域住民との交流が図れた。	・地域行事への参加の協力はコミュニティセンターでも出来るので相談してもらえればよい。	・今後もサロン等に参加の際は、地域の困っている方の情報収集に努め、“ささえりあ”等と連携を図り支援する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・地域を支援する一員として情報を共有できるように、介護職員も運営推進会議に参加し今後の支援に活かす。	・今まで関わりが無かった職員も勤務調整し会議に参加できるようにし、地域を支援する一員として情報を共有できるようにした。	・地域での行事が忙しく会議への参加が毎回出来ていない。	・今年度はメンバーの変更もあり役員の皆さんにご協力いただけるようまた事業所も地域の取り組みと一緒に出来るように努める。
F. 事業所の防災・災害対策	・地域の防災訓練に参加する。また、事業所の消防訓練に地域の方も協力いただけるように働きかける。	・事業所の消防訓練には地域住民1名の参加があった。地域の防災訓練に参加予定にしていたが、情報不足で参加できなかった。	・地域の協力を得る為にはこちらから声掛けを行うと向こうからも声がかかる。	・今後は地域の防災訓練にも参加し、地域の一員として皆様と協力し災害に備えることが出来るようにする。

